企業IR&個人投資家応援イベント



2024年7月27日

株式会社 テノックス

証券コード: 1905 (東証スタンダード)



本日の内容



- 1. 基礎工事って何?
- 2. 「テノックス」って、どんな会社なの?
- 3. テノックスの「強み」って何?
- 4. テノックスの「これから」は?

テノックスは・・・





工法開発型 基礎工事会社



1. 基礎工事って何?



建築構造物や土木構造物の荷重を地盤に伝え、 安全に支える構造を築造すること



日本は地震が多いうえ、人口の大半が河川 が運んだ軟弱な土砂が堆積した平野に集中 しています。

このような地盤に建物などを建てる際は、 軟らかい地盤の下方にある硬い地盤(支持層) で支えねばならず、地盤と建物の条件に適した 土台作り=基礎工事が必要となります。 私たちテノックスは、住宅、商業施設、病院、倉庫、工場、鉄道、道路など、 身の回りにある様々な構造物を利用するすべての方々に、基礎工事を通して 「安全」と「安心」をお届けしています。



基礎工事会社の種類

- 工事特化型 ・・・・ 工事のみ行う
- 工法開発型 ・・・・

・・・・工事の方法を開発

+ 独自工法の工事を行う



独自で開発した工法(知的財産権)を多く保有するため、 優位に展開することができる

テノックスは、工法開発型 基礎工事会社 技術力のある企業として、業界で名前が知られています。

これまでに

- ・建築構造物向けの『テノコラム工法(地盤改良工法)』
- ・土木構造物向けの『**ガンテツパイル工法(鋼管ソイルセメント杭工法)**』
- ・戸建て住宅向けの『ピュアパイル工法(地盤補強工法)』

など数多くの自社工法を開発し、現在保有特許件数は100件以上

「東海環状自動車道」

【大野神戸IC~大垣西IC】

工区の内、68%を NSエコパイル工法にて施工 (2013年9月~2019年8月) 【大垣西IC~養老JCT

工区の内、60%を ガンテツパイル工法にて施工 (2011年1月~2012年2月

【養老IC~養老トンネル】

工区の内、25%を NSエコパイル工法にて施工 (2014年8月~2023年7月)

2026年 開通予定





出典:国土交通省ウェブサイト (https://www.c-

nexco.co.jp/corporate/operation/construction/progress/open/detail mei2kan.html)

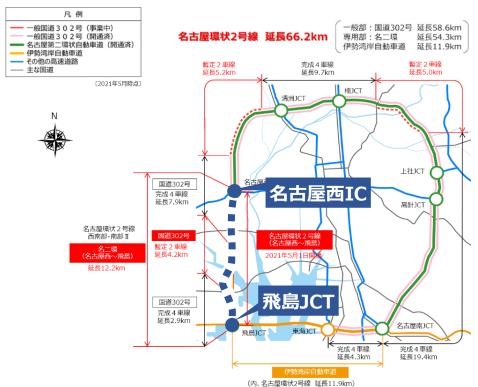


「名古屋第二環状自動車道」

【名古屋西JCT~飛島JCT】

工区の内、30%を NSエコパイル工法・ガンテツパイル工法・TN工法にて施工 (2013年12月~2019年2月)







出典:国土交通省ウェブサイト(https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/project/nagoyakan2/)

滝川

岩見沢

「北海道新幹線(新函館北斗·札幌間)」

地上部分(明かり部=トンネル以外の区間)を テノックスの技術が支えます。

設計・技術提案により、ガンテッパイル工法が採 用された。

2024年7月現在、倶知安および長万部付近の 高架橋基礎を施工中。

丁事延長規模:約212km 2033~2034年頃完成予定

※鉄道・運輸機構HPより



「北海道新幹線、倶知安駅高架橋」 2023年6月より施工中





2. 「テノックス」って、どんな会社なの?



本社外観(ヒューリック三田ビル)

テノックスの概要

1.「基礎工事」って 2.「テノックス」って どんな会社なの?

3.テノックスの 「強み」って何?

社名	株式会社テノックス (英訳名)TENOX CORPORATION
本社所在地	東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 若尾 直
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売 およびその杭打工事の請負・地盤改良工事の請負
従業員数	連結335名 (2024年3月31日現在)
拠点・ グループ会社	国内拠点:11ヶ所 グループ会社:国内4社・海外1社
上場市場	東京証券取引所 スタンダード (証券コード: 1905)

生年月日:1959年4月11日生

出身地 : 神奈川県川崎市

出身大学:京都大学 経済学部

特技 :寝つきが早い

略歴 : 1983年4月 住友商事㈱入社

2003年9月 住商セメント九州(株)代表取締役社長

2017年6月 アイジー工業㈱代表取締役社長

2021年10月 当社入社

2024年6月27日 代表取締役社長就任



テノックスの経営理念・長期ビジョン

L.「基礎工事」つ 何 ? 2.「テノックス」って どんな会社なの?

3.テ/ックスの「強みして何?

4.テノックスの「これから」は?

長期ビジョン (目指すべき企業像)

変化する社会のニーズに適応した技術の革新に積極的に取り組むことで、新たな価値と市場を創出する 基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、 すべてのステークホルダーが豊かさを実感できるサステナブルな企業を目指す

長期ビジョン

(目指すべき企業像)

経営理念

化简等重 校術患所 精極一餐

経営理念



3. テノックスの「強み」って何?



岐阜県某電子部品メーカー工場工事の模様

主な技術の紹介

テノコラム工法(地盤改良)

1984年に特許を取得。建築物の基礎 工法として地盤改良の使用が認知され る先駆けとなった工法で、これまで約 40,000件の実績をあげております。

ガンテツパイル工法 (杭)

日本製鉄株式会社、株式会社クボタと 共同研究開発した工法。道路橋、鉄道 橋、上下水設備など、土木分野で幅広 くご採用いただいております。

TN-X工法 (杭)

日本製鉄株式会社と共同研究開発した、 大径鋼管杭の先端に大きな球根を築造 する建築向けの工法。物流施設やデータ センター、病院などの大型建築物を、少 ない杭本数で支えることができます。









年間売上高72億円 (過去3ヶ年平均)



年間売上高5億円 (過去3ヶ年平均)



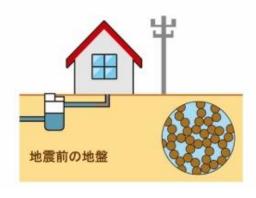
年間売上高42億円 (過去3ヶ年平均)

2024年能登半島地震の液状化被害



出典:「令和6年能登半島地震写真で見る被害状況-もっといしかわ 2024春季号-液状化被害」(石川県ホームページより)

液状化現象について



- ①緩い砂地盤
- ②地下水位がある(高い)



③地震により地盤が 揺れる



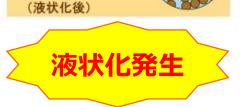
①~③のどれかひとつでも要因を無くせば(減らせば) 液状化を抑制できる



対策

- ・地盤を固くする
- ・地下水位を下げる
- ・地震による地盤の揺れを抑える





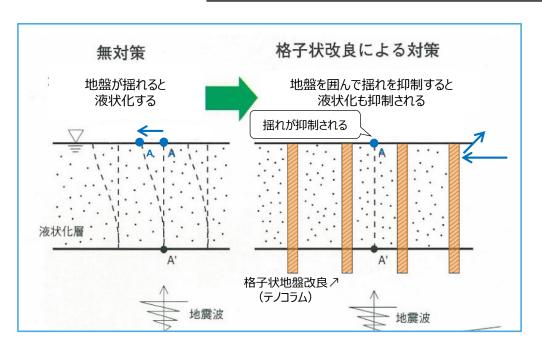
- 埋設管の破損

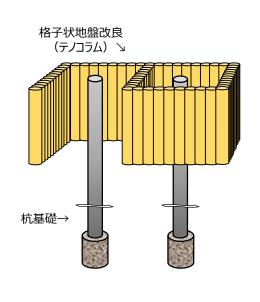
地震後の地盤

東海・東南海・南海地震による 液状化被害数は 愛知県でも**26,000棟** 全壊すると想定されている

ハイブリッド型 液状化対策

格子状地盤改良による液状化対策(テノコラム工法)







数值解析技術 (㈱複合技術研究所と共同)



より多くの人に使ってもらい、より広い地域の安全・安心を築きたい



4. テノックスの「これから」は?



電動小型杭打機「DHJ-15E」

100年企業を目指した、サステナビリティ経営の実現

社会問題

- ・経済成長の鈍化、変動性リスク
- ・国内人口・労働人口の減少
- ・国内社会資本インフラの老朽化
- 建設価格の高騰、供給リスク

環境問題

- ・温暖化による気候変動
- ・多発・激甚化する災害
- ・ 脱炭素社会への加速
- ・パンデミックリスク

労働問題

- ・担い手不足・高齢化
- ・働き方の多様化
- · 労働時間制限(2024年問題)
- ・ 労働集約型事業からの脱却

経営問題

- 資本効率経営の重視
- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・ステークホルダーへの適切な情報開示
- ・企業評価の多様化

変化・多様化する社会課題に対し、5つの重要戦略で挑戦

①事業別戦略

| 自社技術の「折り込み」で | 中期需要ストックを増大

2開発戦略

新技術の開発を継続し 長期的な成長を促進

③環境・ デジタル戦略

環境付加価値の向上 DX化による担い手不足 解消

④経営基盤の 強化

持続可能な成長へ向けた 人財投資、リスク管理体制 強化

⑤資本効率 経営の推進

株主資本コストを上回る ROEの実現

※ 折り込み:設計への技術採用

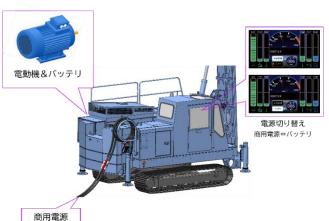
国内基礎工事業界初!

電動小型杭打機「DHJ-15E」の試作機が完成

従来の同機種に比べ、CO2排出量を約20%削減可能に!



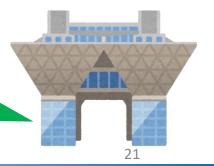
2024年3月27日に共同プレス発表(左:テノックス佐藤前社長右:日本車両田中社長)



✓ 日本車輌製造㈱と共同開発

- ✓ 2024年3月27日に電動小型杭打機試作機の完成を共同プレス発表
- ✓ ディーゼルエンジン機関からの排出ガス量をゼロにして、クリーンな施工環境の実現を目指す
- ✓ 商業電源を使用しグリーン電力を活用することにより、CO2排出 量ネットゼロを目指す
- ✓ ディーゼルエンジンを電動機に置換
- ✓ 従来の同機種DHJ-15と同等の施工性能
- ✓ 輸送時の機動力と連続施工を両立すべく、バッテリーおよび商用 電源から給電する電源切替方式を採用
- ✓ 従来の同機種DHJ-15のCO2排出量を約 20%程度削減可能に!

9月 東京ビッグサイトで 行われる 地盤技術フォーラムへ出展



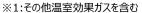
国内基礎工事業界初!

次世代型再生可能ディーゼル燃料を使用

石油由来の軽油と比べ、CO2等(※1)排出量を最大90%削減可能に!

- ✓ 次世代型再生可能ディーゼル(Neste MY Renewable Diesel(RD))燃料 (※2) は 食料と競合しない廃食油をはじめとした残渣油・脂肪等の廃棄物を原料として製造される。 「ドロップイン燃料」として既存設備の改修を必要とせず、ライフサイクルアセスメントベースでの **CO2等排出量が石油由来の軽油と比べて最大90%の削減を実現可能**。
- ✓ **基礎工事業界初!** 2023年8月より当社機材センターの大型建設機械(クローラークレーン)にて3か月使用し、燃費や特性を検証。大阪府カーボンニュートラル技術開発・実証事業として採択され(※3)、2024年下期大阪府内の現場にて使用予定。





※2:Hydrotreated Vegetable Oil(HVO)の一種。既に欧米を中心に広く流通実績がある。

※3:伊藤忠エネクス㈱他4社と共同



当社機材センターでの給油状況



給油状況 (燃料タンク)

- ✓ 2020年度は、「北陸新幹線延伸事業」などが終了した反動と、コロナ禍による建設需要の先行き不透明感に伴う 競合により大幅な減収減益。
- ✓ 新たな大型事業の確実な捕捉、新開発工法の営業開始、新しい働き方を前提とした生産性向上などについて 5 つの重要戦略を確実に実践し、売上高、利益の増大を目指す。



営業CFおよび手元資金を原資とし、将来に向けた投資と 今を支えてくださる株主への還元に戦略的に分配することで 事業成長および資本収益性を向上

営業キャッシュ・フロー (2024-2026年度) 38~40億円

その他キャッシュ・フロー

2024年3月末 現預金

83億円



既存事業投資 30億円程度

成長分野投資 30億円程度

配当 10億円を想定

運転資金 リスクに備えての 内部留保

既存事業投資

設備投資(施工関連) 既存事業に対する戦略投資 (人財育成、DX推進)

成長分野投資

海外事業 環境関連 M&A

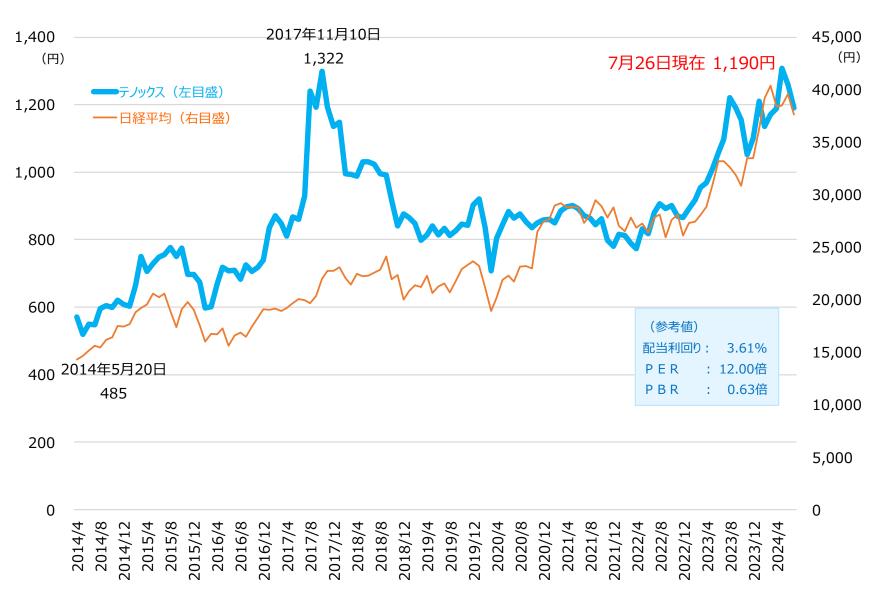
配当

DOE2%以上

原資

分配

何?



株主還元の主要指標を純資産配当率『DOE2%以上』に変更し、 安定的に還元する方針

従来

- 配当性向30%程度を目安に安定的な配当を実施
- 機動的な自己株式の取得
- 利益変動により、前中計期間の連結配当性向は45%以上





- DOE (純資産配当率) 2%以上を目安に安定的な配当を実施
- 機動的な自己株式の取得
- 純資産の積み上げに伴い増配

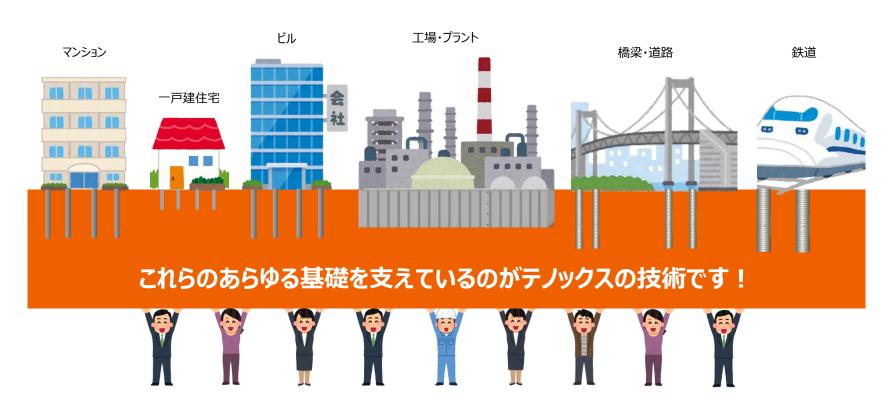




最後に



建設業が造る構造物は多種多様ですが基礎は共通、テノックスです。



そして私たちを支えてくださるのが株主・投資家の皆さまです!



ご清聴いただき ありがとうございました。



ご参考資料



テノックスASIA

テノックスの概要



私たちは、あらゆる建物や構造物を支える基礎工事の専門家集団です。

社名(テノックス)の由来

創業者の安田善次郎が、1970年に安田を慕う10名の青年とともに会社を設立しました。この10名が雄牛の様に力強く邁進しようと、10名の「TEN」と雄牛の「OX」を結びつけ、「TENOX」(テン・オックス = 10頭の雄牛)を社名としました。



初代社長安田善次郎(前列中央)と創業時の顔ぶれ

ロゴマークについて

雄牛のOXをヒントにロゴマークをデザインしました。



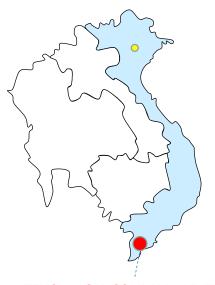
テノックスの事業拠点



本社・営業所 ● 8ヶ所 (・3出張所)、グループ会社 ● 国内4社、海外1社

国内 株テノックス 本 社 : 東京都港区 北海道営業所 : 北海道札幌市 東北営業所 : 宮城県仙台市 北東北出張所 : 岩手県盛岡市 郡山出張所 : 福島県郡山市 名古屋営業所 : 愛知県名古屋市 : 石川県金沢市 北陸出張所 大阪営業所 : 大阪府大阪市 ㈱テノックス技研 : 広島県広島市 中四国営業所 1995年9月子会社化 九州営業所 : 福岡県福岡市 株式所有割合 100% 機材センター、試験室 : 千葉県船橋市 [所在地] 千葉県船橋市 [事業内容] 杭・地盤改良事業及び建機賃貸 ㈱複合技術研究所 1997年4月設立 株式所有割合 55% 大三島物産(株) [所在地] 2022年4月子会社化 東京都新宿区 株式所有割合 100% 〔事業内容〕 2020年10月子会社化 〔所在地〕 土木建築コンサルティング全般等に 株式所有割合 100% 静岡県三島市 関する事業 〔所在地〕 [事業内容] 大阪府大阪市 (本社) 杭丁事、地盤改良丁事、山留め丁事 〔事業内容〕 杭工事、地盤改良工事、土留工事

海外 (ベトナム) アジア進出の拠点



TENOX ASIA COMPANY LIMITED

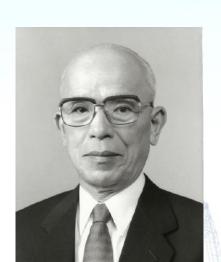
2015年9月設立 出資比率 100% 〔所在地〕 ベトナム社会主義共和

ベトナム社会主義共和国ホーチミン市 (事業内容)

ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

テノックス創業者の想い





創業者 安田 善次郎

創業者 安田善次郎の想い

『基礎工事は建物を支える大事な工事なのに、工事は下請け任せで手抜きされても分からない。自分でやらなければならない、というのが私の考えだ。

そして、町中でドカンドカンと大きな騒音と振動と油煙といった公害を振りまく。これからは公害を振りまくような工事は厳に慎まなければならない。

環境に配慮した低公害工法を開発する必要がある。』

(1970年5月)

50年も前から環境経営を考えていた

テノックス50年の歩み



1997

(財)鉄道総合技術研究

2002

旭化成建材㈱と共同開 発のATTコラム工法 国土交通大臣認定を 取得

2005

新日本製鐵㈱と共同開 発のTN-X工法 国土交通大臣認定を 取得

2010

㈱日本住宅保証検査 機構と共同研究開発の ピュアパイル工法 建築技術性能証明を 取得

2018

ベトナム社会主義共和 国にてテノコラム工法 の企業規格 (TCCS) を取得

所(現·公益財団法 人)・東急建設(株)と共 同開発のラディッシュ アンカー工法

技術審査証明を取得

1980

旭化成建材㈱と共同開 発のCMJ工法 業界初の建設大臣認 定を取得

1984

当社開発のテノコラ ム工法 特許を取得

1985

新日本製鐵㈱ (現 (株)日本製鉄) と共同開 発のTN工法 建設大臣認定を取得

1995

新日本製鐵㈱・㈱クボ タと共同開発のガンテツ パイル工法、技術審査 証明を取得

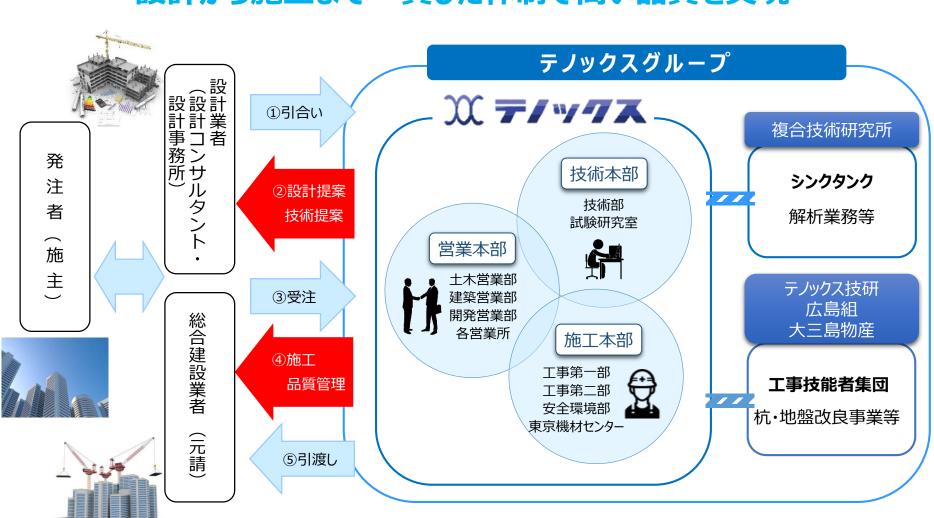
1970

東京都港区に (株)テノックスを設立

強み:ビジネスモデルと特徴

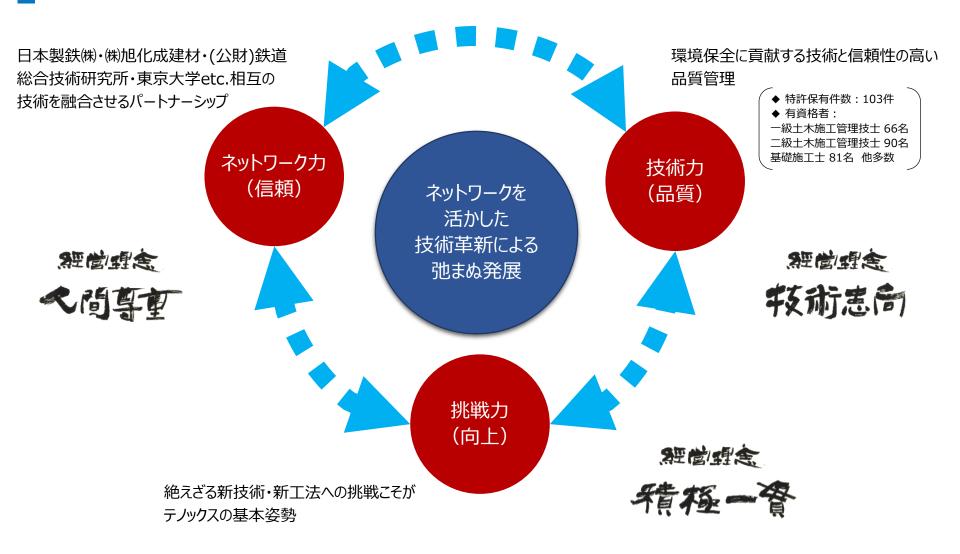


設計から施工まで一貫した体制で高い品質を実現



強み:ネットワークカ・技術力・挑戦力



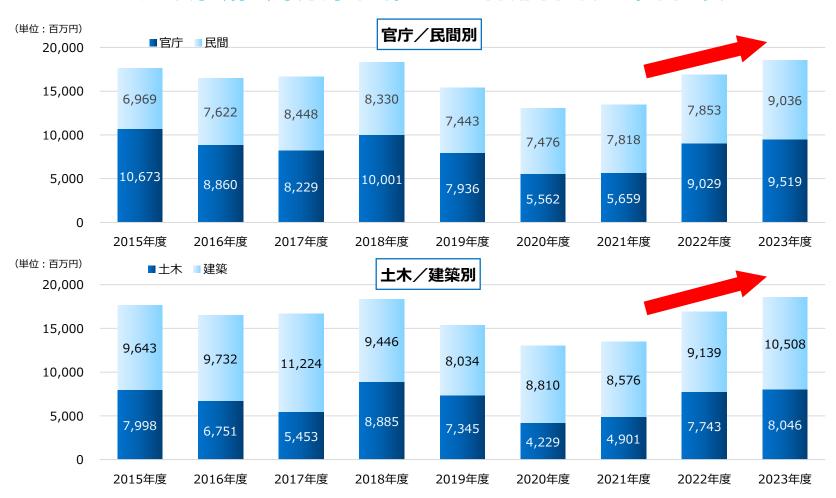


完成工事高推移(単体)



(官庁/民間・土木/建築別)

建設のあらゆる用途に対応が可能なことから、バランスよく様々な分野で当社工法が採用されるため経営は安定



お問い合わせ先



IRに関するお問合せ

□ IR担当部署 管理本部 企画部 経営企画グループ

☐ E-mail ir@tenox.co.jp

□ URL https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/

□ ホームページ https://www.tenox.co.jp/

本資料に掲載しております数値目標や将来見通しは、本書面の発表現在における当社の戦略、目標、また仮定に基づいたものであり、将来における業績や展開に対し、確約や保証を与えるものではございません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い 申し上げます。



株式会社 テノックス